

2021年8月30日

報道関係者各位

欧州製薬団体連合会 (EFPIA) Japan

費用対効果評価制度に関する最新の政策提言を公表 －科学的妥当性と透明性の向上に向けて

欧州製薬団体連合会 (EFPIA) Japan は、医薬品の費用対効果評価制度に対する最新の政策提言「医薬品の費用対効果評価に対する基本的見解」を当会ホームページ上 (efpia.jp) で公表しました。EFPIA Japan は、同制度が試行導入される以前から「諸外国での医療技術評価の利用と日本における意義～患者さん中心の意思決定を目指して」(2015年)と題して同制度に関する政策提言を行い、その後、制度の正式導入や展開に応じて、当会の見解を明らかにし、制度改善を継続的に求めています。今般公表した最新の基本的見解では、2019年の正式導入後、一連の分析・評価プロセスを経て明らかになった制度の運用や科学的妥当性を巡る課題を取りまとめ、その解決に向けた政策提言を行っています。

1. 『医薬品の費用対効果評価に対する基本的見解～科学的妥当性と透明性の向上に向けて～』

政策的視点から費用対効果評価制度における運用上の課題や医薬品の適切な価値評価に向けた政策提言

2. 『医薬品の費用対効果評価に対する基本的見解～科学的妥当性を巡る課題～』

技術的視点から費用対効果評価制度における科学的妥当性を巡る課題を取り上げ、その解決策に向けた政策提言

当会は、医薬品の多様な価値が適切に評価される薬価制度に向けて、多様なステークホルダーとの対話を続け、政策パートナーとして貢献してまいります。

欧州製薬団体連合会 (EFPIA) Japan について (<http://efpia.jp/>)

2002年4月に設立された EFPIA Japan には、日本で事業展開している欧州の研究開発志向の製薬企業 21社が加盟しています。2020年の加盟各社の総売上高は、日本の製薬市場の売上の約 23%を占めています。EFPIA Japan の使命は、“革新的な医薬品・ワクチンの早期導入を通じて、日本の医療と患者さんに貢献する”ことです。EFPIA Japan は日本の医療向上に向けて政策決定者との対話を強化することを目指しています。



European Federation of Pharmaceutical
Industries and Associations

欧州製薬団体連合会 EFPIA (The European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations) について (<http://www.efpia.eu>)

ベルギーの首都ブリュッセルに本部を置く EFPIA は、欧州でビジネスを展開する製薬産業を代表する団体です。欧州各国の 36 の製薬業界団体や欧州で展開する 39 の大手製薬企業の会員を通して、世界の人々の健康と生活の質 (QOL) を改善する新たな治療薬を研究開発し、患者に届けることにコミットしている欧州企業の声を代弁しています。

お問い合わせ先：

木戸口結子 EFPIA Japan 政策提言委員会

〒100-8268 東京都千代田区丸の内 1-6-5

バイエルホールディング株式会社

Tel: 03-6266-7757

Email: yuko.kidoguchi@bayer.com

EFPIA Japan

ThinkPark Tower, 2-1-1, Osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-6017, Japan

Tel: +81-3- 6417-2032 Fax: +81-3- 6685-4870